

高松南高校 PTAだより

編集・発行 県立高松南高校PTA 第61号



ごあいさつ

PTA会長 川 股 啓 護

春の気配が日ごとに濃くなり、校庭にも新しい季節の息吹が感じられるようになりました。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の高校生活には、喜びも悔しさも、努力の積み重ねもあったことでしょう。その全てが、これからの人生を支える大切な力となります。高松南高校には「今日あるを感謝し 最善を尽くして 日々に進むべし」という校訓があります。今ある環境や周囲の支えに感謝し、1日1日を大切に歩む姿勢こそが、皆さんの未来を切り開く原動力となります。どうか胸を張って新たな道へ力強く

踏み出してください。PTA一同、皆さんの門出を心から祝福します。

修了生の皆さん、この2年間の成長に心から拍手を送ります。勉強や学校行事など日々の積み重ねが皆さんを確実に前へと進めてきました。先輩たちの姿から学んだことを胸にこれからも挑戦を恐れず自分の可能性を広げてください。「今日あるを感謝し 最善を尽くして 日々に進むべし」の精神を大切に、次の1年も充実した日々となることを願っています。

最後に保護者の皆様、地域の皆様、そして教職員の皆様には、日頃より温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。学校行事やPTA活動が円滑に進められたのは皆様のお力添えがあってこそです。来年度も「学校、家庭、地域」をつなぐ架け橋として、より良い教育環境づくりに努めてまいります。引き続きご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。



お子様のご卒業を祝して

校 長 三 笠 善 宣

春の光が校庭を優しく照らし、木々の芽吹きに力強い生命力を感じる季節となりました。本日、卒業または修了の節目を迎えられた生徒の皆さん、本当におめでとうございます。そして、これまでお子様を慈しみ、一番近くで温かく支えてこられた保護者の皆様には、心よりお慶び申し上げます。

数年前にはじめて本校の門をくぐった時の期待と不安が入り混じったお子様の姿を、昨日のここのように思い出されているのではないのでしょうか。本校は、5つの学科と専攻科を擁する、多様性に満ちた学び舎です。専門的な知識や技術の習得を目指す日々は、決して平坦な道ばかりではなかったはずですが、

振り返りますと、元気に活動する生徒たちの傍らで、保護者の皆様が温かく寄り添ってくださった数々のシーンが思い返されます。特に南高祭で行われたPTAの皆様による「餅つき大会」は、とても楽しいひとときとなりました。威勢よくつくられたお餅を、皆で笑顔で分かち合ったあの光景は、多忙な学校生活の中での、ホッと心安らぐ大切な思い出の一つです。こうした皆様の細やかなお力添えが、生徒たちの学校生活に彩りを添え、豊かな感性を育む一助となっていました。

朝早くから学習や部活動にひたむきに向き合うお子様の姿に、保護者の皆様も時に励まし、時に見守りながら、共に歩んでこられたことでしょう。本校で学ぶ生徒たちが、日々の学びを通じて「責任」の重さを噛みしめることができたのは、ご家庭という安心できる場所があったからこそです。日常の何気ない会話や、皆様の深い愛情が、生徒たちの挑戦を支える何よりの原動力となっていました。

私たち教職員も生徒たちを見守る中で、彼らの成長ぶりに何度も目を見張りました。専門性を磨くことで得られた確かな自信は、今では社会へ羽ばたく「一人の自立した大人」としての風格さえ感じさせます。この素晴らしい成長は、学校とご家庭が手を取り合い、同じ方向を向いて見守ってきた成果であると確信しております。

結びに、PTA活動への多大なるご理解とご協力に、改めて深く感謝申し上げます。皆様のさらなるご健勝と、卒業生の皆さんの輝かしい未来を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。これまで本当にありがとうございました。



ボランティアで餅つきに参加していただいた PTA の保護者の皆さま、ありがとうございました。お餅は、生徒や多くの来場者に振舞われ、大変喜ばれました。

今年のテーマは、「南高祭最高って伝えなきゃ～青春をシェアしよう～」でした。生徒たちが日々学んでいる南高が最高ってことをみんなに伝えたい！青春の時間をみんなでシェアしようという思いの詰まった文化祭になりました。

1年生は、はりぼての作品、壁画、正門や階段の装飾で校内を彩りました。2年生は、各学科展や体験企画で盛り上げました。3年生は、それぞれ特色のあるバザーを行いおいしい商品と笑顔を届けました。また、各部活動の展示やステージ発表があり多種多様なイベントが行われました。文化祭実行委員、文化祭委員のもと、各クラスが協力し、無事終わることができました。南高の素敵なおとぎ話をたくさんの方々とシェアできたと思います。



後期クラスマッチ

令和7年度後期クラスマッチは、12月22日（月）、23日（火）に行われました。女子はバスケットボール、男子はバレーボールを行い、熱戦を繰り広げました。また、今回は初の試みとしてマリオカートを種目に取り入れました。どのクラスも大変な盛り上がりを見せました。各種目の優勝は以下の通りです。

マリオカート優勝	3年5組	2年6組	1年4組
女子バレーボール優勝	3年7組A	2年3組B	1年7組B
男子バレーボール優勝	3年2組A	2年2組B	1年8組A
オセロ優勝	3年7組	2年2組	1年5組
女子バスケットボール優勝	3年7組A	2年7組	1年3組A
男子フットサル優勝	3年6組	2年2組A	1年6組

(生徒会担当 山田 直人)



東京・北海道修学旅行 を振り返って

1日目は、東京観光・ディズニーシーに分かれて、楽しい修学旅行が始まりました。ディズニーシーでは、海底2万マイルやタワーオブテラーなどのアトラクションに乗ったり、カチューシャやファンキャップを付けてリトルマーメイドや地球儀の前で写真を撮ったりしていました。東京観光では、まず浅草で雷門を見ました。そこで、ザーシーパイを食べた際、想像よりも大きく驚きました。その後原宿では、肉厚ミートサンドなど、ボリュームなご飯を食べてお腹を満ちました。2日目3日目は、スキー、スノーボード研修、小樽・札幌観光をしました。私はスキーを選んで、初めての体験で、滑れるか不安でいっぱいだったけれど、班の子と励まし合いながら優しいインストラクターさんにも助けを借りて、最終的には滑れるようになりました。小樽・札幌観光では、お土産を沢山買い、ローストビーフ丼を食べました。お店が沢山ありすぎて、決めるのに時間が掛かりました。夜はイルミネーションで暗い夜がとても賑やかな夜になっていました。4日目はウポポイ国立アイヌ民族博物館に訪れて、アイヌの伝統的な衣装やアイヌの歴史に触れながら、平和や差別について考えました。また、帰り際に白い恋人のソフトクリームを食べました。最後に、新千歳空港で、海鮮丼とホタテのバター醤油焼きを食べました。北海道の海鮮は美味すぎてすぐに食べられました。この4日間の修学旅行で、クラスメイトとの仲が深まり、忘れられない修学旅行になりました。

(2年4組修学旅行委員 小比賀海羽、宮井夢月)



東京ディズニーシー



スノーボード研修



ジンギスカン



小樽散策



スキー研修



ウポポイ国立アイヌ民族博物館

運動部

令和7年度後半主な成績

- 弓道部
香川県高等学校弓道選手権大会 男子個人の部 (全国大会出場)
- 剣道部
香川県高等学校新人大会 女子団体 準優勝
香川県高等学校剣道強化大会兼 全国高等学校剣道選抜大会香川県予選会 女子団体 優勝 (全国大会出場)
- 相撲部
香川県高等学校新人大会 団体 優勝 個人の部 優勝
- バスケットボール部女子
香川県高等学校バスケットボール選手権大会 香川予選 3位
- バレーボール部女子
全日本バレーボール選手権大会 香川県予選 優勝 (全国大会出場)
- ハンドボール部女子
香川県高等学校ハンドボール新人大会 3位
全国高校選抜ハンドボール大会 県予選 2位
全国高校選抜ハンドボール大会 四国予選 第二代表獲得 (全国大会出場)

■バレーボール部 全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場して

私たちバレーボール部は、1月5日～11日まで開催された、第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会に出場しました。憧れの東京体育館で全力でプレーすることができ、全員でバレーボールを楽しむことができました。常に感謝の気持ちを忘れず、全員で楽しむ南高バレーが続いていくようにチーム一丸となって頑張ります。これからも応援よろしくをお願いします。



■剣道部 全国高等学校剣道選抜大会に向けて

1月の県予選では、「チーム力」を武器に全員が力を出し切り、32年ぶり2回目の優勝をすることができました。3月26日から開催される全国大会（愛知県春日井市）では、いつも私達を支えてくださる全ての方々へ感謝の気持ちを忘れず、初戦突破を目指し全力で頑張りたいと思います。（女子剣道部 主将 吉村 菜摘）



■相撲部 全国相撲選抜大会に向けて

全国選抜大会は、3月14日（土）・15日（日）に高知県春野運動公園相撲場で行われます。今まで積み重ねてきたものを、試合ですべて出します。まずは、予選突破を目標にチーム一丸となり全力で戦ってきます。今日あるを感謝し最善をつくします。（相撲部 主将 佃 亮弥）

文化部

- 合唱部
全日本合唱コンクール香川県大会高等学校部門 銀賞
香川県高等学校総合文化祭合唱部門「合唱の祭典」 奨励賞
- 書道部
国際高校生選抜書展（毎日書道主催）
秀作賞 3年 佐藤瑞希 入選 2年 住友美花
青少年健全育成作品展（高松市少年育成委員連絡協議会）
最優秀賞 1年 森内優芽
香川県人権作品展 パンフレット掲載 3年 佐藤瑞希
- 吹奏楽部
香川県高等学校総合文化祭書道部門 優秀賞（全国大会推薦） 2年 竹内彩愛
全日本高等学校書道コンクール（全日本書道教育振興協会主催）
準大賞 2年 竹内彩愛 優秀賞 2年 住友美花
- 吹奏楽部
全日本吹奏楽コンクール香川県大会 高等学校B部門 金賞
全日本マーチングコンテスト香川県大会 高等学校以上の部 銀賞

各種検定（数字は合格者数）

全商各種検定1級	7	被服製作検定（洋服）	11	乙種第4類	13
ビジネス文書実務	12	食物調理検定	12	乙種第5類	6
ビジネス計算実務	11	保育検定	1	乙種第6類	4
情報処理	3	秘書技能検定2級	10	ガス溶接技能講習	8
商業経済	16	測量士補	15	2級土木施工管理士	16
家庭科技術検定1級		危険物乙種第1類	3	実用英語技能検定 準2級	10
		乙類第2類	7	2級	3
		乙類第3類	6		(令和8年2月現在)

進路について（進路指導部）

今年から共通テストの「生徒によるネット出願・登録」が始まりました。我々の不安をよそに、スマホに慣れた生徒達は登録作業をこなしたようです。しかし、受験票の印刷に加え、私大や国公立大学の共通テスト利用型入試の出願手続きや様々な申請も生徒がスマホで行うため、生徒自身の情報獲得とその理解、責任が求められました。ぜひ、ご家庭でも出願時の際はお子様と一緒に受験要項（ネット・冊子）に目を通していただけたいと思います。

本校では、総合型・学校推薦型選抜入試を利用し、1月末時点で約9割の生徒が進路決定しました。推薦入試で成功した生徒の共通点は、早い時期から志望校（学科）の情報を集め、過去問とともに教員と毎日粘り強い対策をとったことです。社会の動きに関心を持ち、新聞や新書を読む。それらを自分で考え、自分の言葉で表現できるようにする。視野を広げ知識を得るために、1、2年次から図書室に足を運んで下さい。また、同時に『確かな学力』も必要です。全国の受験生がライバルゆえ、校外模試は不可欠です。客観的な自分の立ち位置を知りましょう。志望校合格へ向け

て進むことは大変ですが、自己を見つめる新たなきっかけにもなります。受験勉強の経験は、皆さんが自分の壁を越えられる機会になるはずです。前向きにとらえて挑戦して下さい。

就職状況

今年度の就職予定者は44名。昨年度は37名。県下の多くの高校で就職希望者数が減少している中、本校は公務員を中心に増加しました。就職でまず1番に考えて欲しいことは「どんな仕事か」ということでももちろんあります。でも、生きていく中で、まずは、自分で考え、悩み、「決める」ことが大事だと思います。更に会社を給料の高さで決めないで下さい。早い時期に会社を辞めるケースが多いです。会社を見て、働いている人を見て「みんな真剣だ」「ここなら頑張れる」と思える会社を選択して欲しいです。公務員を希望する場合は、今日から問題集を買い、勉強を始めて下さい。専門学校生も同じ高卒枠で受験します。彼らは毎日朝から夜まで公務員試験の勉強をしています。その人たちとの競争です。

学校評価(保護者アンケート調査)結果報告

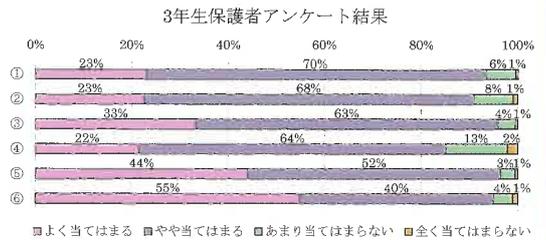
本年度も学校評価の一貫として、3年生の保護者の皆様にアンケート調査をお願い致しました。①～⑥の質問項目について、「4.よく当てはまる」「3.やや当てはまる」「2.あまり当てはまらない」「1.全く当てはまらない」の4段階で回答していただきました。下記はその結果を集計したものです。

<質問項目>

- ① 高松南高校は、自ら学び自ら考え、責任のある行動がとれる人間を育てている
- ② 高松南高校は、さわやかなマナーと思いやりの心をもった人間を育てている
- ③ 高松南高校は、各学科の特色を生かした学習活動を通して、将来社会に貢献しようとする態度を養いつつ、自己の進路希望の実現に向けた意欲と力を育てている
- ④ 高松南高校は、交通安全対策やいじめ防止、教育相談対応など、生徒が健康で安全に過ごせるようにしている
- ⑤ 高松南高校は、部活動や学校行事を盛んに行い、それぞれ成果を上げている
- ⑥ 子どもを3年間高松南高校に通わせて、良かったと思っている

今年度も、昨年度と同様に全ての項目について8割以上の方に良い評価をいただきました。特に質問項目1(責任のある行動)、質問項目2(思いやりの心)、質問項目3(学科の特色・進路実現)、質問項目5(部活動・学校行事)、質問項目6(全般的満足度)については9割以上の方に良い評価をいただきました。各学科の評価についても、普通科については8割以上の方に、環境科学科、生活デザイン科、看護科、福祉科の専門学科については、9割以上の方に良い評価をいただきました。自由記述では、「担任や各科の先生が細やかに対応してくれた」「いろいろな資格を取ることができ専門的知識が身につけることが出来た」「友人に恵まれ、充実した高校生活を送ることができた」「子どもが楽しく高校に通うことができて良かった」というような記述がありました。一方で、「学科やクラス間での指導に統一性がない」「指導をする際の態度や言葉遣いに気を付けてほしい」「進路指導をもっと充実させてほしい」などのご意見もいただきました。今回の評価を参考に、保護者の方、地域の方々のご協力をいただきながら、今後の学校運営の改善に努めていきたいと考えています。

本校の教育方針は「二十一世紀の担い手として、広く社会に貢献しようとする健全な徳性と優れた知性をもち、主体的に判断し行動する創造性豊かでたくましい人間の育成を目指し、五つの学科と専攻科を置く総合制高校の特色を活かした教育を推進する」です。今回いただいた貴重なご意見を参考に、今後とも全職員あけて教育活動に邁進して参りますので、これまで同様、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



第67回 中国・四国地区高P連大会 (7/10~11) に参加して

◇◇PTA会長 長尾 昌樹◇◇

はるばる行ってまいりました琵琶島根。「神話の郷に集う縁～新時代を生き抜く力を～」という大会テーマでしたが、神話とか島根って聞くと何が浮かびます? 出雲大社を思い浮かべましたか? はい正解、他には? っていうと出てきますか? 桃太郎電鉄とか好きな人以外は結構ピンときませんよね。名産品にしじみとかものけ姫の舞台となった「たたら場」もあることから製鉄も有名で、島根大学には企業が共同出資した金属の研究センターがあり新材料が開発されてたりするので、島根すげえ。

さて、大会の話に戻りますが、記念講演では島根出身のメカニックデザイナー山根公利氏の講演を聴くことができました。この人、いえこの御方どういった経歴をお持ちかご存知でしょうか? 何とガンダムSEEDのメカニックデザインを手がけたとかいうヤバい人なんです! ああ私ガンダムオタクですので熱量がちがいますよ。ガンダムSEED語りましょうか? 要らないですか? そうですか。実際には存在しない巨大な人型メカをデザインするには、現実的に機能している二輪四輪駆動車や産業マシンなどを徹底的に観察しインスピレーションをもらっているという神の神話を私のような卑しき下民が聞くことができました。ありがたき幸せ。

高校生による活動発表も圧巻でした。神楽やダンス、和太鼓、独唱と、皆真剣で魂が揺さぶられるとはまさにこの事。香川も負けてられない!! 会場の準備やリハーサルなど前日から見てましたが、島根のPTAの方々の手際も熱量も地元愛も相当なものでした。招待していただきありがとうございます。

第30回 大学・専門学校訪問研修会 (10/10~11) に参加して

◇◇PTA監事 花川 佐知子、本部理事 山本悦子◇◇

「シン・京都」のテーマのもと、香川県高等学校PTA連合会主催の研修旅行に参加しました。

1日目は同志社大学と京都産業大学を訪問しました。同志社大学は今出川キャンパスを見学し、歴史ある学舎や学校生活について学生から直接説明を受けました。続く京都産業大学では、ワンキャンパスならではの活気と学生同士の盛んな交流が印象に残りました。また学生のやりたいことに対して奨励金を出す「サギタリウス・チャレンジ」は、夢の実現を支援する魅力的な制度だと感じました。

2日目は京都橋大学と京都伝統工芸大学を訪問しました。京都橋大学では多様化する社会のニーズに対応した学部学科の展開と、実践的な学びの設備について詳しい説明がありました。また、専門職の国

家資格取得を学内でサポートしていることが心に残りました。京都伝統工芸大学では伝統工芸の継承という専門性の高い分野において、現役職人や名工らによる確かな技術取得と就職支援が両立されている点に感銘を受けました。

今回の研修旅行のテーマでもある「シン・京都」の通り、古都の伝統を守りつつも新しい時代の流れを取り入れていく各校の姿勢を現地で見ることは大きな収穫だと感じました。

これから進学準備を進めていく南校生の皆さんには、ぜひ実際に足を運んでキャンパスの雰囲気や環境、特色を見てほしいと思います。その際、気になることは積極的に質問をして、Webサイトやパンフレットだけでは伝わりにくい情報を収集してください。皆さんに合った進学先が見つかりますよう心から応援しています。

第40回香川県人権・同和教育研究会 (10/21) に参加して

◇◇人権・同和教育主任 山岡 良子◇◇

昨年の10月21日にレクザムホールなどを会場として標記の大会が開催され、PTA会長の川股さんとともに参加いたしました。全体会での講演も分科会での報告も大変聞き応えがあり、学びの多い1日となりました。

仲島正教さんの講演「あーよかったな あなたがいて」についてご紹介いたします。非常にパワフルな講演で、笑いと感動にあふれており、あっという間の80分でした。途中、子どもにとって大事なのは、過去より未来という話がありました。大人は過去にこだわりがちで「どうして先と言わなかったの?」「こうしないと!」と失敗を責めるけれど、そうすると子どもは学校に行きたくなくなるから、「お帰りと大変だったね、おやつ食べよう」と温かく迎えることで、愛されていると感じ、心の安定につながる、というような内容でした。学校で出会う生徒たちや自分の子どもたちが笑顔になれる、元気になれるような声かけを、これからは増やしていきたいと思わされました。

他にも、忙しいときほどまず10秒だけ子どもを抱きしめるという「10秒の愛」という話があり、「皆さんも今日家に帰ったら、ぜひやってください」と宿題をもらいました。社会人の子どもを抱擁するのは照れくさくてできませんでしたが、もしもいいなと思われた方は、ぜひ実践してみてください。

今年の7月には、香川県高松市を会場として、第73回四国地区人権教育研究会が開かれます。地元開催ということもあり、PTAの皆様にも例年以上に参加のお誘いをする予定にしております。お忙しいとは存じますが、どうぞご協力のほどよろしく願いいたします。

第2回PTA理事会

今年度2度目のPTA理事会が、1月29日(木)に本部役員・クラス理事16名の出席のもと開催されました。令和7年度PTA事業及び会計の中間報告、各部部長と学年団長からの現況報告が行われました。

また、令和8年7月11日に香川県で開催される中国・四国地区高P連大会の概要についての連絡をしました。地元開催につき、多くの参加者を募っていますので、ぜひご検討ください。



《編集後記》日頃よりPTA活動にご協力頂き、誠にありがとうございます。高松南高校PTAだより第61号が完成しました。本号では、南高祭、後期クラスマッチ、2年生修学旅行などの学校行事、部活動での活躍などの記事を掲載しています。ぜひ、お読みください。また、ホームページにも各種行事の報告が更新されておりますので、ぜひご覧ください。

■南高校ホームページ <https://www.kagawa-edu.jp/minamh02/>